

# MINATOビジョン・タウンフォーラム 街づくりグループ（第1グループ）

## 会議録（第3回）

### ■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和7年10月20日（月）18時30分～20時30分

会 場 : 港区役所9階 915会議室

メンバー : 8名（欠席者7名）

【内訳】 対面参加7名、オンライン参加1名

事務局 : 企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、都市計画課長、委託事業者2名（うちファシリテーター1名、記録者1名）

### ■次第

（開会）

#### 1 事務局より連絡

・配布資料の確認等

#### 2 区の将来像のたたき台に関する議論

・分野別の将来像

・区全体の将来像

#### 3 事務局より連絡

・MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

（閉会）

### ■配付資料

資料1 第3回グループ会議進行資料

資料2-1 区全体将来像案

資料2-2 分野別将来像案

資料3 MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

資料4 欠席者からいただいたご意見

参考資料1 会議録

### ■貸与資料

なし

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第3回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言が行われた。

### 1 事務局より連絡

事務局より、本日の会議の進め方等について説明が行われた。

### 2 区の将来像のたたき台に関する議論

ファシリテーターより、資料1を基に、本日の趣旨や進め方について、資料2-1及び2-2を基に、これまでの検討の過程を確認の上、事務局が作成した分野別及び区全体の将来像のまとめ案について説明が行われた。メンバーは、各将来像案に対して意見交換を行った。

#### (1) 分野別の将来像

(主な意見等)

参加者：タイトル「グローバル・ベイフロントシティ」はイデオロギーを感じてしまいピンとこない。

参加者：このタイトルはどのように活用されるのか。

事務局：資料2-1が港区全体の将来像、資料2-2が街づくり分野の将来像となるものである。表現はできる限り短く印象に残るような表現としている。

参加者：もう少し分かりやすい方が良いのではないかと。例えば、英語ではなく日本語で示すなど。「みんなで創ろう」の表現はどの分野でも当てはまるので、もっと街づくりの要素を入れてはどうか。他区にはない港区ならではのものを抽出して、もう少し表現を柔らかくしてはどうか。

参加者：グローバルスタンダードではなく、港区を世界に打ち出したい。それは何かというと、海辺や運河など、他にはないものではないか。これまでは街の発展のために取組が進められてきたが、これからは人を中心として街をつくるべきであり、その表現を入れてほしい。

参加者：水辺の話はしたが、グローバルの意見が強かったわけではなく、我々が言いたかったのは、増上寺など古い建物をどうやって守っていくか、高齢化が進んだ際にどうしたら住みやすい街になるのかということ。どうやったら我々が主体的になって住みやすい街になるのかということ提案しているので、タイトルは見直した方が良い。今の港区が価値あると感じるものを国内や海外がリスペクトするような、歴史や人など、区民が誇れるような街であるべき。グローバルスタンダードは捉え方によって異なってしまう、海外の人も含めて住民が住みやすいということではないか。

参加者：グローバルスタンダードは他区にも言える表現なので、水辺や伝統文化、国際性など、港区らしいエッセンスを入れてはどうか。

参加者：「みんなで創ろう」は、みんなで作っている街がいいのではという話だったので、コンセプトとは違うと思う。

参加者：「みんなで創ろう」は違和感がある。グローバルスタンダードは特色がないことの裏返しになってしまうため、議論の過程ではあったかもしれないが、タイトルとしてはふさわしくないと思う。

## ア グローバルスタンダードな美しい都市について

(主な意見等)

参加者：「日本らしさ」を「港区らしさ」に変え、「港区らしさ」から文章が始まるように順番を入れ替えてもらいたい。区の特徴や伝統、歴史、好きなどところなど「港区らしさ」を共通認識としており、現在の将来像案ではグローバルスタンダードに付け加えていくような街づくりの方向性になってしまうのでは。

参加者：日本、地方全国を支える港区であるべき。日本が衰退する中で港区だけが勝つのではなく、いかに地方を守っていくか、応援していくかを考える区になれば誇らしい。

参加者：「2040年代の港区では、…」の文章は最後に移し、この文章の前に、港区らしさなどを示していく方が良い。

参加者：切り分け方だが、都市空間と居住環境は同じように感じる。港区ならではの、人、街、住み心地のようなウェルビーイングの観点から切り分けはできないか。都市空間に偏りすぎているように感じる。都市があって、人があって、どういう心地になるのかといった3段構成でどうか。ストーリー的に読みやすくなる。当たり前の聞いたことのある単語だと聞き手は離れてしまう。

参加者：港区ならではの個性が確立していないので文章がつかれないのだと思う。これまでの議論で国際化は意見として出ていたが、強調するとかえって港区の個性がなくなる気がする。

事務局：「グローバルスタンダード」という単語は残すか、それとも使わない方が趣旨に合うか。

参加者：文章の中に入っていたとしても表題として前に出さなくても良いと思う。

参加者：港区に入ったら、ガードレールの色が違う、特徴的なデザインがあるなど、ここが港区だと思える雰囲気がなければならぬ。港区なりの文化をつくる必要もある。

参加者：区政80周年などを入れても良いのでは。歴史と伝統文化で未来へ紡ぐなど。

参加者：世界をリードする美しい文化都市のように、世界をすでに引っ張っているような先のイメージを言葉にするといいのでは。港区の人たちがそういう街をつくり、リードしている世界になっている状態を言葉にできると良い。

参加者：港区全体のランドデザインを描いた街づくりという点、景観条例を定めた古い建物を残す街づくりの2点は残してほしい。グローバルスタンダードではなく伝統を守る。地域の特色はあるがバラバラではなく、港区全体で統一感あるような街づくりを目指してほしい。

## イ 水辺と緑あふれる癒しの都市について

(主な意見等)

参加者：「ウォーターフロント」という言葉は陳腐で30年前に流行った言葉なので、気の利いた言葉にしてほしい。

参加者：カタカナ英語ではなく日本語にして「水辺」でも良いのではないかな。

参加者：文字数を統一した方がいい。文字数を揃えるなど、読みやすさを考えるべき。

参加者：話し手にとっては説明が難しく、聞き手にとっては理解しにくい文章構成になっている。聞いている人によっては文章の内容やタイトルを見てもイメージができない。

参加者：解消するためには、人と都市が混ざっているのでは、都市空間なら都市空間のはなし、人なら人の話で切り分けた方が読みやすくなる。

参加者：「やさしさに満ちた環境が整っています。」という文章があるが、この「やさしさ」は都市

が人に提供するものか、人が地域の人たちに提供するものか分からないので、「やさしさに満ちた」といった文章は削除しても良いのではないかと考える。

事務局：オンラインの方からチャットで、身近な場所には公園があることは大部分が達成されているので文章を短くしてもいいのでは。また、抽象的な表現が多いので月並みに感じるとの意見をいただいている。

参加者：2040年も水辺に接した港区の構築と、運河の水質改善に取り組む港区を入れてほしい。

参加者：2040年には水質は改善されているのでは。将来の状態なので取組ではないのでは。

参加者：表現はお任せする。

参加者：「イルカが来る運河」くらいの文章にしてはどうか。そこから色々なことを思う。きれいと思う必要もない。

参加者：読んで、聞いてワクワクできる文章にしないといけない。

## ウ 人々の暮らしと活動を支える都市について

(主な意見等)

参加者：例えば、お祭りに子どもや高齢者が参加しているなど、人がどうやって1年を過ごしているか、そうした要素を散りばめられると良い。

参加者：街づくりは、ハード、ソフト、それらをどういう心地で使っているかの3分野に切り分けたほうが分かりやすくなる。

参加者：人が中心で街がつくられてほしいので賛同する。

参加者：自動運転や交通ばかりでなく治安にも言及してほしい。安全だからみんなが楽しく過ごせる。子どもが一人で歩けるような街。

参加者：高齢化が進んでも生活しやすい、ごみやトイレといった生活基盤が需要人口に合った整備をする街づくりをしてほしい。路上喫煙や公道カート、深夜の暴走走行車への港区の条例の制定をイメージできる内容にしてほしい。

参加者：まとめると安心に包含されている。具体的に書くのは難しい。安全や安心、清潔感などはみんなが願う当たり前のことなので、港区ならではの言葉や状況を前段に入れられると良い。リニアや自動運転は日本の前提となるものなので、港区としては関係がない。

参加者：渋谷区はトイレで世界に発信した。港区もそういうものが必要か。

参加者：子どもが一人で電車に乗れるまち、子どもが一人で冒険できるまちはどうか。そういうのがテクノロジーで安全・安心が守られているのは港区ならではののでは。子どもが一人で歩ける街。

参加者：トイレは民間に頼りすぎている。行政としてどう対応していくか。

参加者：「様々な人が街づくりに関わり、それぞれの…」といった文章があるが、「様々な人」は漠然としているので、「港区に関わる全ての人」と文言を修正してほしい。

## (2) 全体の将来像

### ア 港区のこれまで

(主な意見等)

参加者：区政80周年の要素を加えても良いのでは。意外と知られていない。また、大使館が多いことや松平家の歴史など、もう少し具体的なワードを入れてもいいのでは。読んでいて、

港区についてこんな街だったんだと思うことを具体化することで、港区の特徴が伝わる。鉄道発祥150年など、数字的な要素があっても伝わる。

参加者：「…企業や大学、病院など、様々な機関が集まっています。」の文章について、「機関」ではなく「施設」の方が合うのでは。「多様な価値観」という表現は人によって捉え方が違うので違和感がある。

参加者：「伝統と新しさが、出会い続けてきた場所」とタイトルにあるが、どういった出会いが生じてきたのかイメージできない。どういう伝統とどういった新しさが出会ったのかを一言で表したり、古い自然と新しい自然がどういう風につながってきたのかなど、ストーリー立てると聞いていて分かりやすくなるのでは。

参加者：「鉄道発祥の地として交通網が充実し、…」の文章は、「鉄道発祥の地」と「交通網」には因果関係がないのではないか。「鉄道発祥の地」という文言については、「風格漂う寺社仏閣や、趣のある歴史的な建造物」に含めてしまっても良いのでは。

参加者：「まち」と「街」の平仮名と漢字表記はどのように使い分けているのか。

事務局：港区の場合は、ハード面は「街」、その他は「まち」としている。

## イ 2040年代の港区の将来像

(主な意見等)

参加者：職員のマインドリセットが必要。職員が事業を考えるのではなくスタッフであるべき。アムステルダムでは市民の中からリーダーを育てている。市民がやりたいことを職員が応援するというボトムアップが望ましい。北海道の学校では子どもが主体なので、先生という呼び方はやめてスタッフと呼んでいる。将来の港区は住民や活躍している人が主体となってアイデアをつくり、それを職員が実現化するためにどうやるかということを入れてほしい。区民企画、区民評価という文言も記載してほしい。抽象的な言葉に言い換えて構わない。区民が主体的に考える街づくりなど。

参加者：職員がルンルンすることは大事だと思うが、将来像にどのように当てはめるのか。

参加者：区の職員はどう思って区民と接しているのか、倫理観はどうかと感じている。区に提案しても管理とか、締め付けるばかりで、区民のことを考えるべき。

参加者：理解できるが、職員も区民もお互い様の部分はある。違う話なので別の際にすべき。

参加者：関われば関わるほど、港区は区民の声を聴いたり、取り組んだり、仕組みはすごくやっているの、職員の負担も大きいと思うので、ワクワク感は賛成する。

参加者：職員のための企画ではなく、区民のためのものであるはず。

参加者：両方ではないか。

参加者：両方だと思う。将来像ではなく、そのためにどうするかという次の話では。

参加者：将来像をどうつくるかは、これからの話。

参加者：行政主体ではなく区民主体でやるべきということを言いたい。

参加者：「地域の可能性を生かす」に入っている。

参加者：区民も事業者も行政も、全員が同じ心地でやらないといけないし、ルンルンすることが大事だし、全員が主役である。

参加者：事務局の修正に任せる。

参加者：「地域から世界に広がるまち」の文章の中に「港区には、暮らす人だけでなく、働く人や…」

とあるので、最後の文章「…幸せに暮らせるまちが実現しています。」は「暮らせる」ではなく、「過ごせる」のほうが良いのでは。

事務局：資料4で欠席者の意見を配布しているが、美しい言葉が並んでいるだけで中身に乏しい、意見の取捨選択ができていないので総花的でとがった要素に欠ける、何を捨てるかが重要、競合の視点に欠ける、他区とどのように差別化をするのか、歴史は神社仏閣ではなく近代史ではないか、港区が誇ることができるのはウォーターフロントであり公園・緑地ではないといった意見が寄せられた。

参加者：歴史は外せない。勝海舟などの話は山ほどあるので、外す必要はない。

参加者：歴史は保護していかなければならない対象。むしろ、港区は乃木神社や泉岳寺など寺社仏閣が多くあるので、むしろ観光面の売りもあるのでアピールしてほしい。神社仏閣は積極的に活用するべきで、将来に日本と感ずるものを失うと港区も個性のない街になる。

参加者：明治以前と以降で分ける必要はないのでは。泉岳寺や増上寺、東京タワーなど、フラットに示せばよい。

参加者：歴史があるから近代社会につながっているので切り分ける必要はない。

参加者：「輝きうるおう」を「輝き潤う」と漢字に修正してほしい。

## ウ 2040年代に向けて大切にしていこう

(主な意見等)

参加者：「港区には、地域に想いを馳せる、たくさんの人たちがいます。」といった文章内の「馳せる」の後の句読点を削除してほしい。

参加者：タイトルの「想いを一つに」と「3つの想いを」は矛盾しているのではないかと。また、「想いを一つに」と「多様な価値観を認め合う」は整合が取れないように思う。さらに、「多様な価値観を認め合う」「地域の可能性を生かす」「一人ひとりの幸せを願う」とあるが、これが港区の将来像の実現にどうつながるのかが分かりにくい。

参加者：抽象的に感じてしまい将来像との対応が分かりにくい。将来像の3項目と、想いの3項目は対になるようにした方が良いのでは。

参加者：「多様な価値観を認め合う」のタイトルと内容が合っていない。「一見、…」以降の文章は理解できず削除が良いのでは。

参加者：「地域の可能性を生かす」の項目で「区民をはじめ、働く人や学ぶ人。」という文章がありながら、「区民の幸せとまちの発展を目指していきます。」となっており、区民だけに限定してほしくない。

事務局：各将来像と想いは対の関係にはしておらず、進めるためにどのような思いを持つかということを示している。これまでの議論で街の姿がある一方で、高齢者に住みやすいといった想いに関する意見も多くあったので、それをまとめている。

参加者：そういう趣旨であればタイトルを変えれば良いのでは。将来像に向けてと読めてしまう。

参加者：港区として大切にしていこうものは今すでにあるのでは。

事務局：現行の「港区基本構想」がそれであり、その改定に向けて今皆様に検討いただいている。

参加者：「港区が大切にしていこう」にしてはどうか。

参加者：「歴史と最先端」「都会と自然」「地域と世界」と始めると、将来像につながっているように見えるので修正した方が良い。

参加者：想いを一つにするのではなく、想い、感情、感性を大切に3つで整理してはどうか。

参加者：「2040年代の港区の将来像」の3項目については、世界をリードする街、イルカが来る街、子どもが自由に遊べる街でどうか。

参加者：クリエイティブ性をより一層盛り込んでほしい。

### 3 事務局より連絡

事務局より、資料3を基に、MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会の概要や発表方法等について説明が行われた。メンバーにより、発表は2名で行うこと、各将来像案の資料調製は発表者に一任し確定後にメンバーに共有することとした。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。

以上